

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27003	施策名		新エネルギー系統対策蓄電システム技術開発			
新規/継続	新規	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad		社会還元			
施策の目的及び概要	大規模風力発電及び太陽光発電の系統連系による送電系統の不安定化を解消するために、系統内に設置する蓄電システムを開発することで大量導入が見込まれる新エネルギーの導入を加速する。						
達成目標及び達成期限	2020年までに、従来の出力抑制のみに頼らない系統安定化対策の一つとして、新エネルギーによる電力を有効活用できる蓄電システムを実現することを目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	<ul style="list-style-type: none"> ・定置用蓄電池のコスト2万円/kWh, 寿命15年を達成する(2020年) ・定置用蓄電池のコスト1.5万円/kWh, 寿命20年を達成する(2030年) ・系統用蓄電システムの仕様、実運用技術の構築を行う(2015年) 						
23年度の研究開発目標	<p>本施策により、平成23年度中に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統用蓄電池の開発環境構築 ・蓄電システムの仕様検討 <p>を実施する。</p>						
施策の重要性	新エネルギーの導入促進において、系統上の課題を解決する有望技術の開発であることから、本技術開発は低炭素社会の実現やエネルギーセキュリティの確保に直結する重要施策である。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定。蓄電池および蓄電システムの技術開発と併せ、安全性の評価方法などの構築も実施し開発品を評価する。 得られた成果は電力用システムメーカーや電池メーカーで実用化され、国内では電力会社によって使用される予定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				2,000			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NEDO			
H23概算要求額の内訳	<p>人件費:302</p> <p>内訳 技術マネージャークラス 30名 主任クラス 70名 一般 55名</p> <p>装置等費:1,119</p> <p>主な内訳 実験用試作機 400 電池試作装置等 198 塗工機等 133 他 388</p> <p>消耗品・外注等経費:257 一般管理費・消費税等:303</p> <p>—</p>						
期間	H23~H27			資金投入規模(億円)	147		
これまでの成果(継続のみ)	—						
社会情勢・技術の変	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年経済危機対策 太陽光発電:2020年に2800万kW目標 						

化(継続のみ)	・今後、大規模な風力発電施設(洋上含む)及び太陽光発電の普及・促進が進められており、大量の新エネルギーが系統に連系することによる急激な出力変動や周波数変動の調整など系統安定化対策が早急に求められている。		
昨年度優先度判定(継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	—
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	アウトリーチ活動実施の具体化に向け検討中		